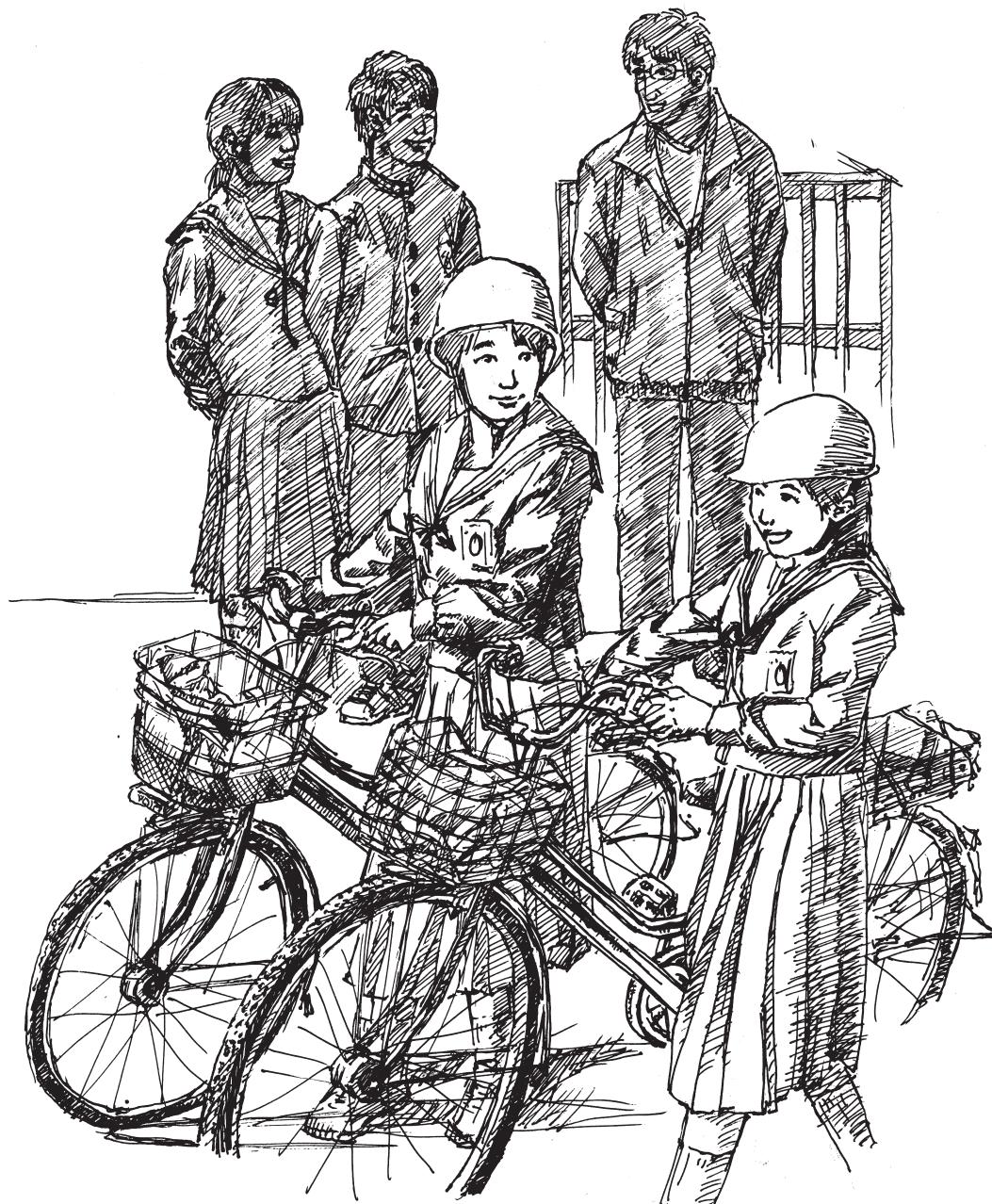


2014年度

明日を生きる

子どもたちのために



一宮市小中学校 P T A 連絡協議会
一 宮 市 教 職 員 組 合

は　じ　め　に

この度、保護者の皆様と先生方のご理解とご協力により、2014年度「明日を生きる子どもたちのために」が発刊できる運びとなりました。

東日本大震災からの復興の最中、今夏は広島市をはじめとして各地で大規模災害が起こりました。子どもたちを取り巻く悲惨な事件・事故も毎日のように報道されています。親や先生から学ぶまでもなく、子どもたちは生きることの大切さを実感しています。しかしながら、その子どもたちを取りまく環境は決して良いとは言えません。価値観の多様化、産業構造の多角化等により、人間が本来大切にしなければいけないものが失われつつあるような気がします。いじめ、無縁社会、負け組、児童虐待など、親として聞きたくない言葉が社会に氾濫しているのは、その証左ではないでしょうか。

だからこそ大人の使命として、将来を担う子どもたちが安心して成長できる環境作りが大切だと思います。PTA連絡協議会は、学校・家庭・地域の連携を深め、子どもたちの健やかな成長を育む体制をさらに充実させていきたいと考えています。

7月、尾西グリーンプラザにて、「子どもたちのために手を携え合って～伝え合い、励まし合い、支え合い～」というテーマで「2014健全育成の会」が開催されました。子どもたちのよりよい成長を願って、保護者と教師の相互理解を深め、学校と家庭が連携をしながら、子どもたちを支援していくことういうものです。保護者代表・教師代表(健全育成委員)各2名からテーマに関する内容で体験談を話していただき、ともに相互理解を深めました。

また、9月には一宮市民会館にて、「一宮 母と女性教師の会・文化講演会」が開催され、講師に島田洋七氏を迎へ、「笑顔でいきんしゃい！」と題して明るく生きることの大切さについて講演していただきました。

少子高齢化・経済不安・雇用悪化・核家族化といった社会的な不安は、子どもたちにも大きな影響を与えていると言っても過言ではありません。しかしながら将来を担う子どもたちが、健やかにたくましく成長していくように、真剣に環境整備をすることが私たち大人の使命です。その第一歩として家庭の果たす役割が今後ますます重要になってきます。

さて、2014年度「明日を生きる子どもたちのために」では、『安心～心の安らぎを求めて～』と題して小学校・中学校・保護者・教師の考え方などを比較分析し、まとめました。子どもたちの健全な成長と幸せを願ってやみません。

最後に、家庭・学校・地域の皆様の日頃の活動に厚くお礼申しあげますとともに、さらなるご理解・ご支援をいただきますようお願ひいたします。

2014年11月

一宮市小中学校PTA連絡協議会
会長 大塚慶治

目 次

明日を生きる子どもたちのために 「安心～心の安らぎを求めて～」

I 学校生活の中で

- ① 学校生活での安心・安らぎ 1~2
- ② 授業での安心・安らぎ 3
- ③ 悩みや不安があるとき 4~5

II 家庭生活の中で

- ① 家庭生活での安らぎ 6~7
- ② 家庭生活での不安 8

III 輝く明日に向かって

- ① 将来の夢について 9
- ② 将来への不安 9~10
- ③ 将来に向かって 11

<アンケート実施者>

☆小学生 小学5年生
☆保護者 小5・中2の保護者

☆中学生 中学2年生
☆教 師 小学校・中学校の教師

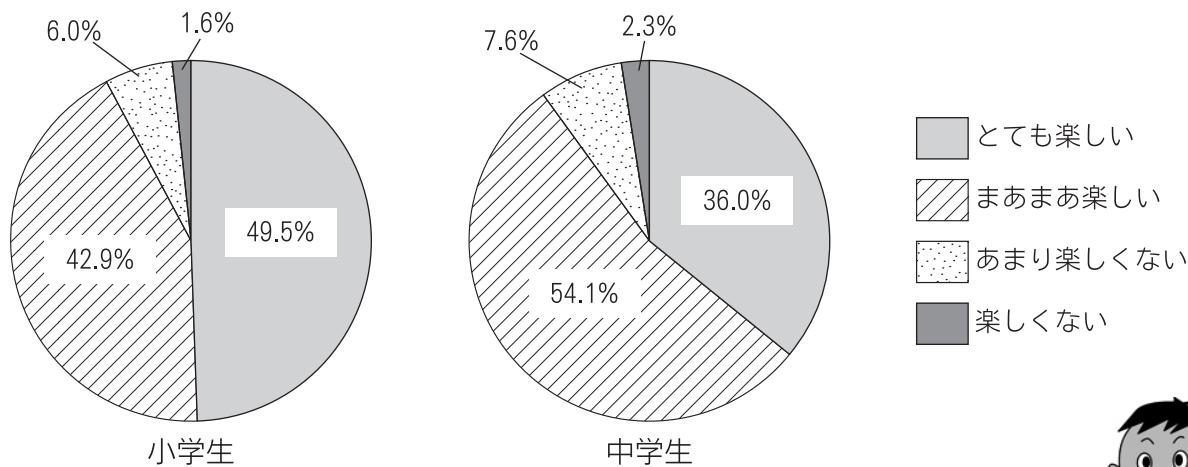


子どもたちは安心・安らぎをどんなときに感じているのだろうか？

I 学校生活の中で

① 学校生活の中での安心・安らぎ

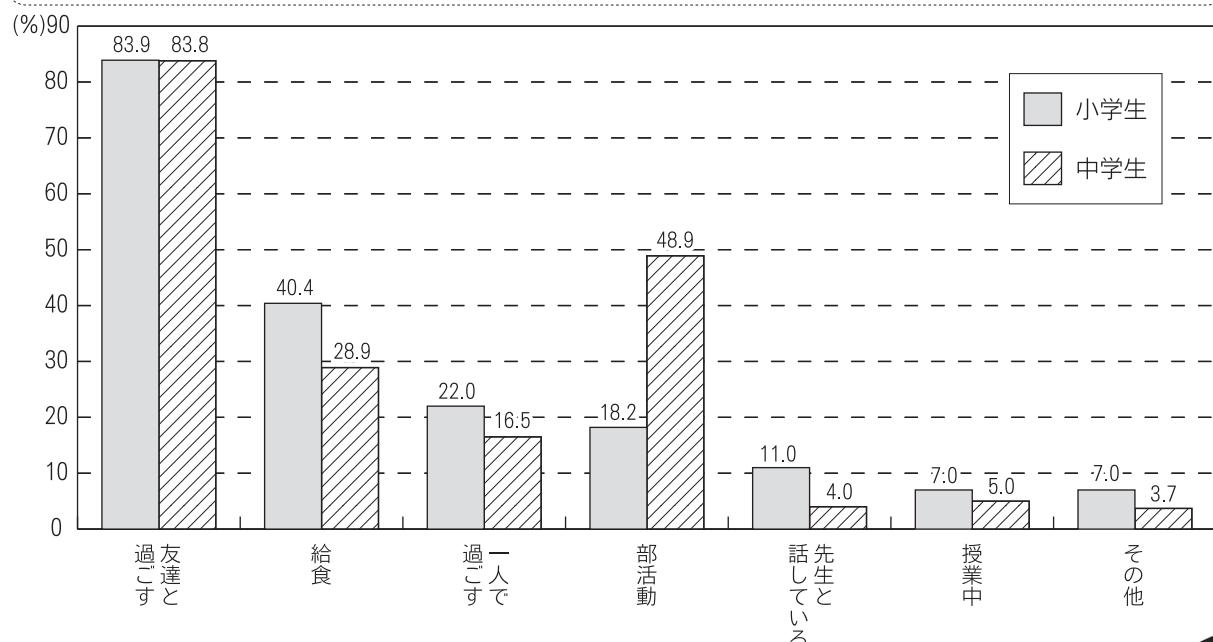
◆ 学校生活は楽しいですか。（小・中）



小学生も中学生も9割以上の子どもが学校生活を楽しいと感じています。



◆ 学校生活の中で安心・安らぎを感じるときはどんなときですか。（小・中 複数回答）

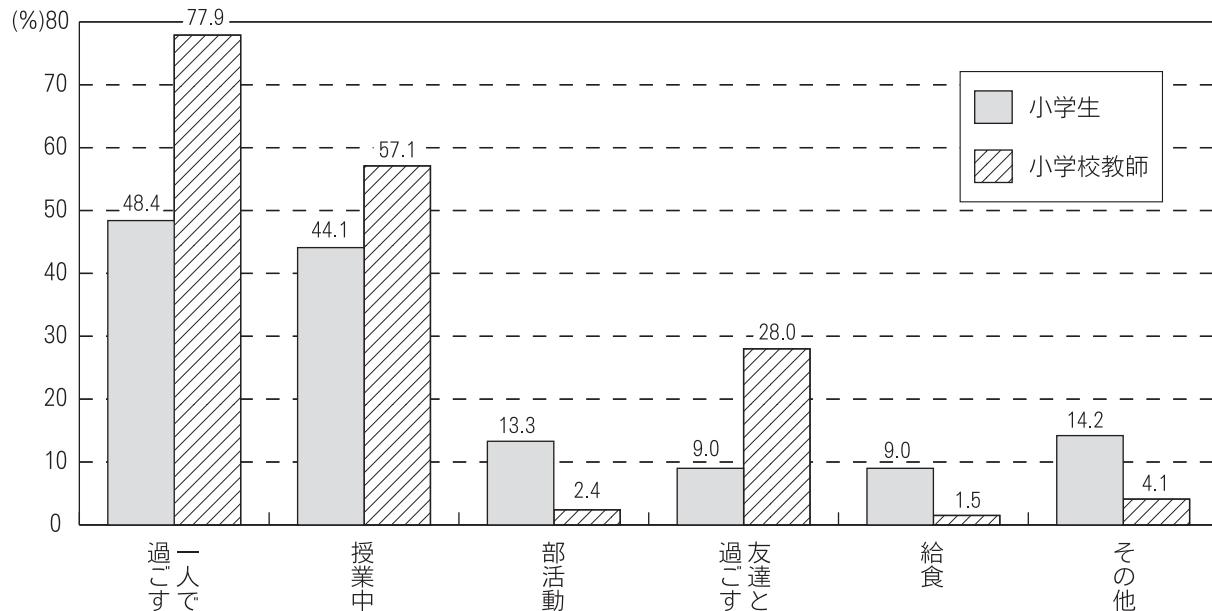


「友達と過ごしているとき」に安心・安らぎを感じている子が多いようです。中学生になると、「部活動」で安心・安らぎを感じる子も多いようです。子どもにとって友達との関わりが安心・安らぎに大きく関係すると考えられます。

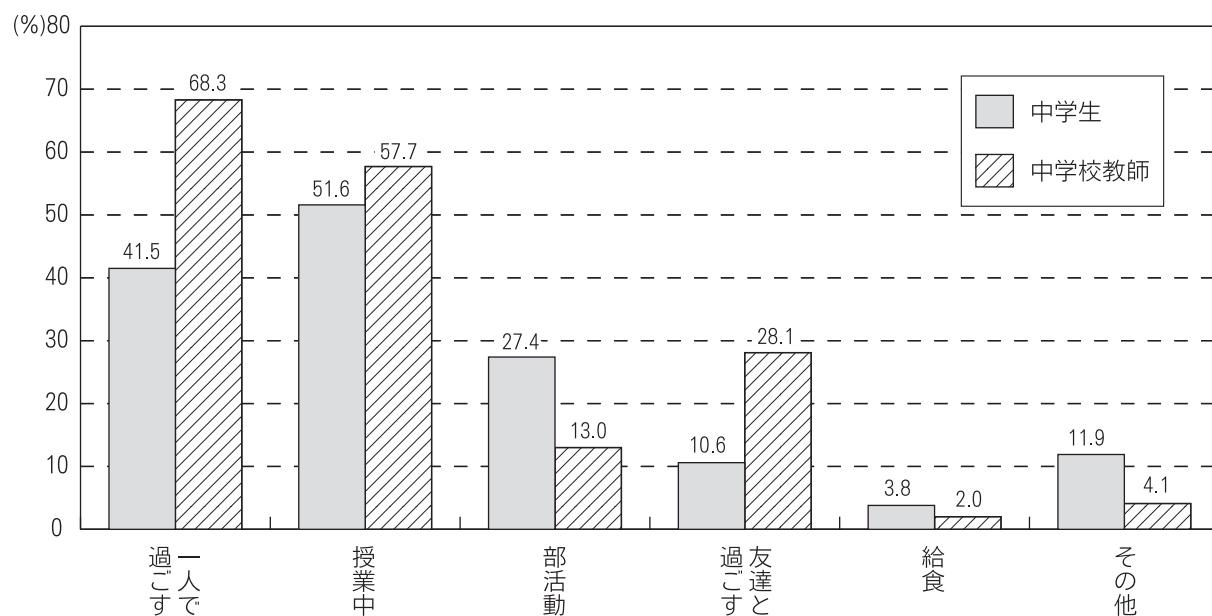


- ◆ 学校生活の中で不安を感じるときはどんなときですか。 (小・中 複数回答)
 ◆ 児童・生徒が、学校生活の中で不安を感じるときはどんなときだと思いますか。
 (小・中教師 複数回答)

小学生



中学生

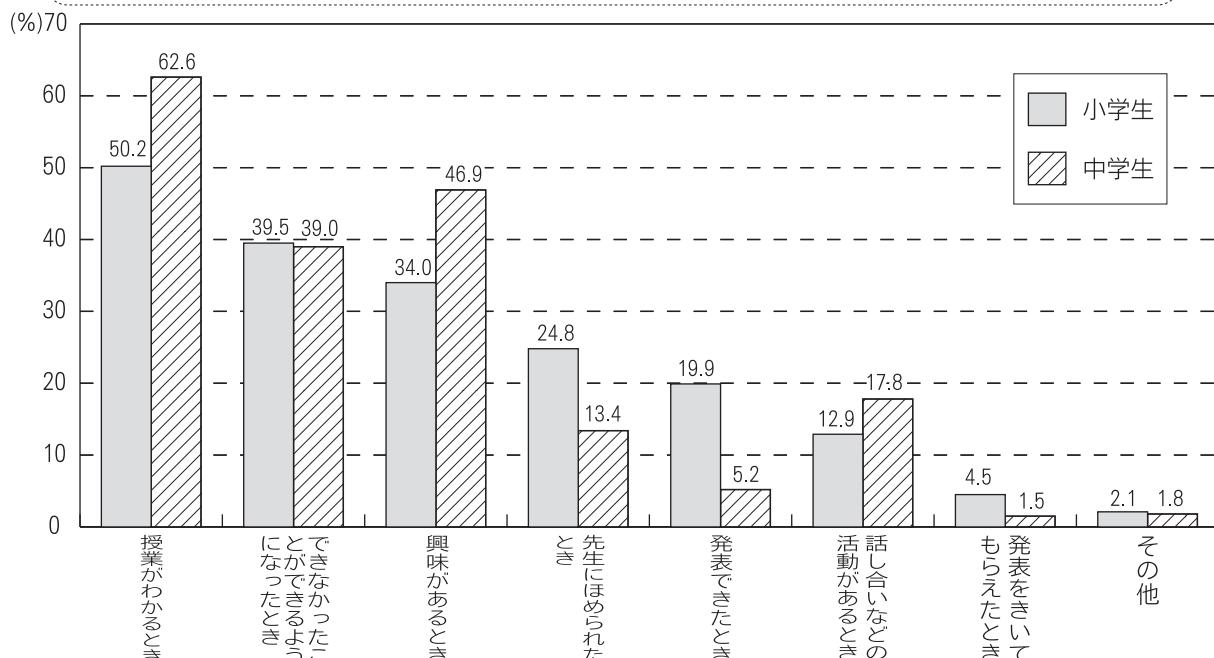


不安を感じるときは、小学生・中学生ともに「一人で過ごす」と「授業中」が多いようですが、教師が思っているよりも、不安を感じている子どもは少ないようです。また、全体的に見ても、子どもと教師の意見がずれているものが多いようです。授業中以外にも子どもの様子を観察したり、他の教師と情報交換したりして子どもの理解に努めることが大切です。



② 授業での安心・安らぎ

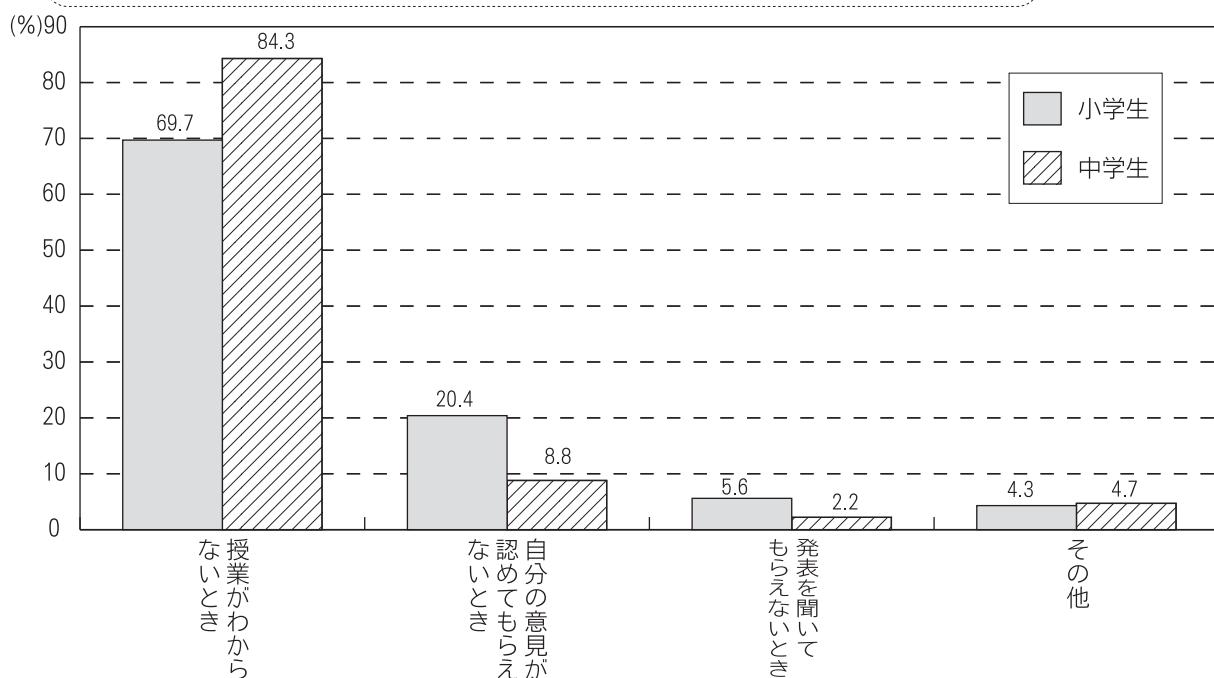
◆ 授業中に安心・安らぎを感じるときはどんなときですか。(小・中 複数回答)



子どもたちは、わかるようになりたい、できるようになりたいという気持ちが強いようです。子どもたちに「できるようになった」という達成感をもたらされるような授業が求められていると言えます。また、授業に興味があるときも安心・安らぎを感じるので、教師は、子どもの興味を引き付ける授業を開拓する必要があります。



◆ 授業中、不安に感じるのはどんなときですか。(小・中 複数回答)

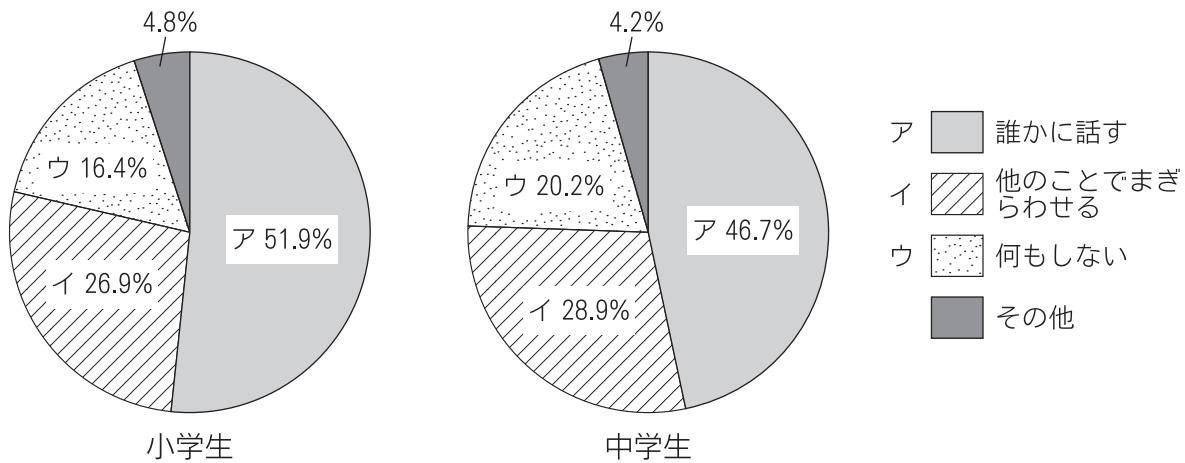


子どもたちは「授業がわからないとき」、不安を多く感じるようなので、よくわかる授業を行う必要があります。また、小学生では中学生と比べて「自分の意見を認めてもらえないとき」も多く感じるようなので、子どもの意見を認めていくことも大切だと言えます。



③ 悩みや不安があるとき

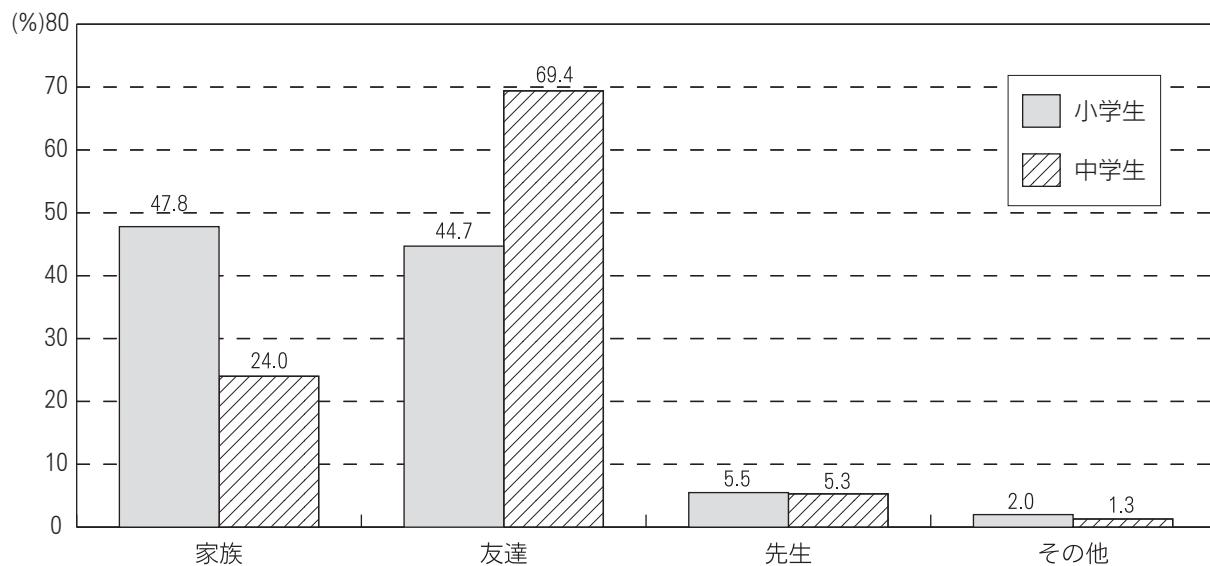
◆ 学校生活での悩みや不安を解消したいとき、どのような行動をとりますか。（小・中）



小学生・中学生ともに悩みや不安があっても、約半数の子しか誰かに話さないようです。



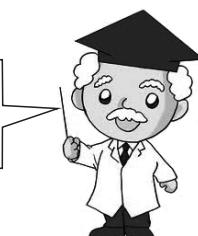
◆ ア（誰かに話す）を選んだ人は、誰に話をしますか。（小・中）



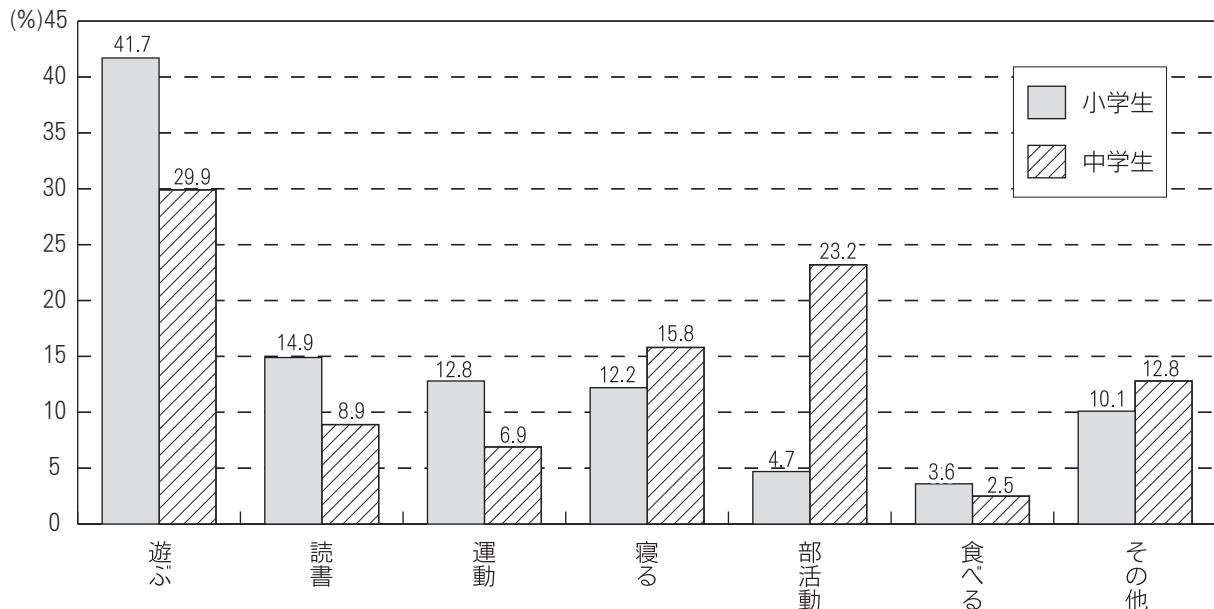
困ったことや悩みごとについては、小学生も中学生も「家族」や「友達」に相談することが多く、中学生では「家族」よりも「友達」に相談することが増えていることがわかります。



子どもたちが困ったことや悩みごとを相談しやすいように、教師は子どもとのつながりを深めていく必要があります。



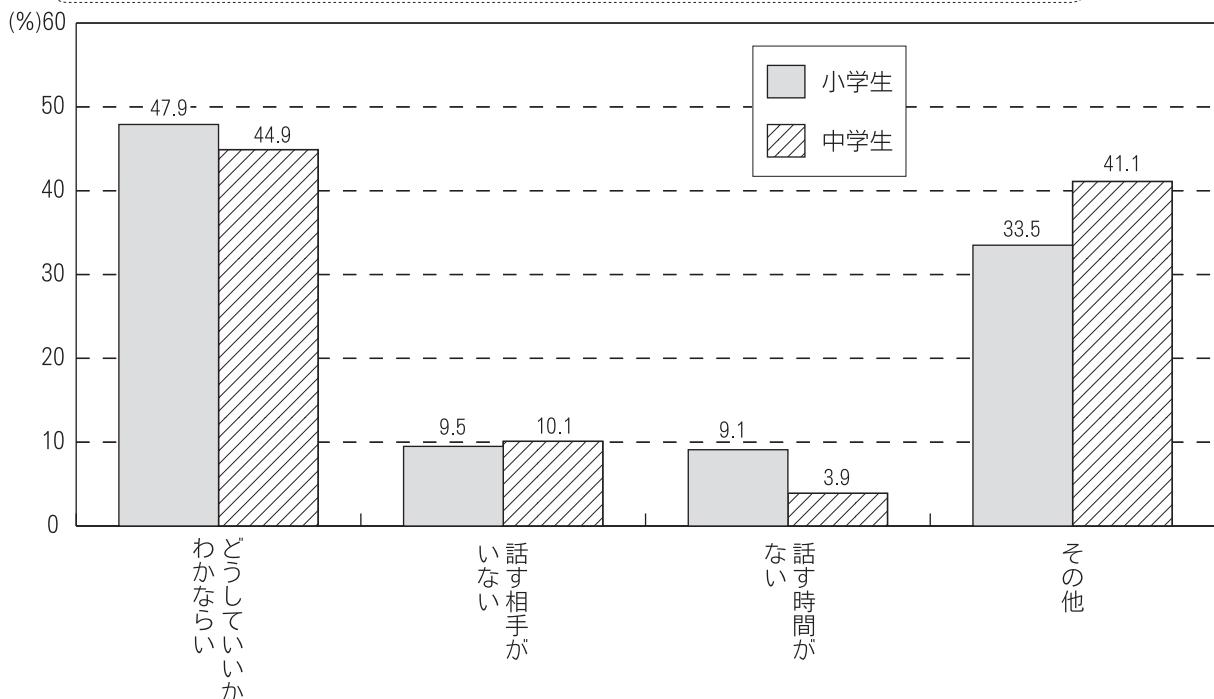
◆ イ（他のことでまぎらわせる）を選んだ人は、何をして不安を解消していますか。（小・中）



「他のことでまぎらわせる」子どもは小学生・中学生ともに遊んで不安や悩みを解消している子の割合が多いようです。また、中学生では、部活動で不安や悩みを解消している子も多いので、部活動の時間を充実させることが大切です。



◆ ウ（何もしない）を選んだ人は、何もしない理由は何ですか。（小・中）



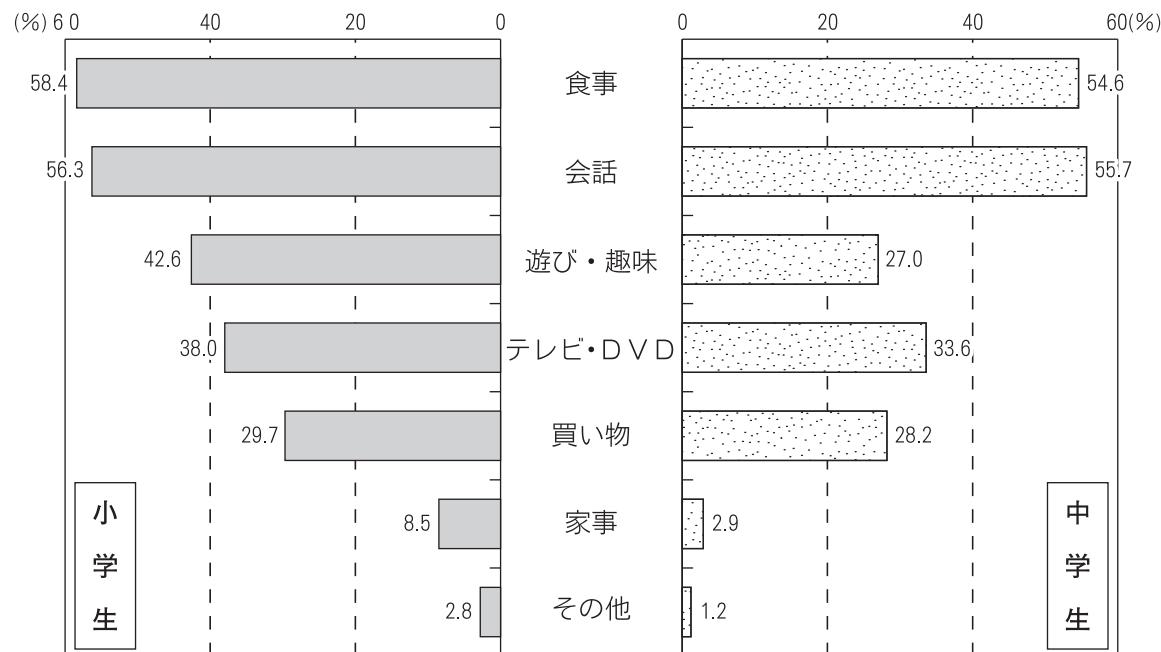
不安や悩みがあったとき、「どうしていいかわからない」子が多いことから、学校では悩みアンケートなど定期的に行い、子どもたちが安心して悩みを打ち明けられるような対策や人間関係づくりが大切なのではないでしょうか。



II 家庭生活の中で

① 家庭生活での安らぎ

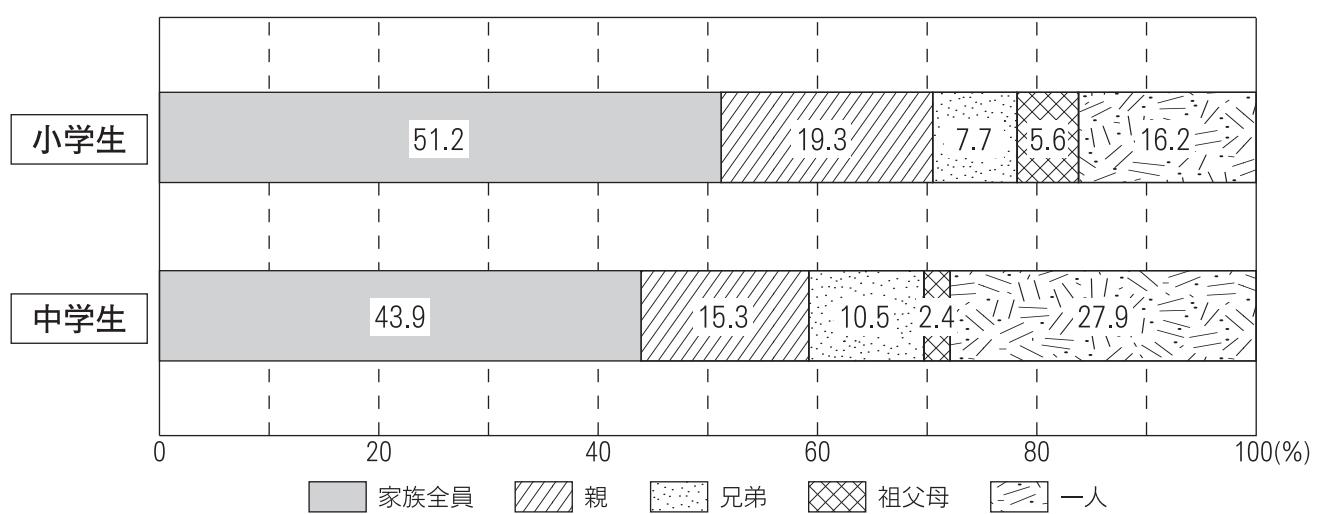
◆ 家族と一緒に過ごすとき、どんな場面で安心・安らぎを感じますか。(小・中 複数回答)



どんな場面で安心・安らぎを感じているかを見ると、中学生に比べて、小学生はあらゆる項目で割合が高いことがわかります。このことから小学生は、何をして過ごすかにかかわらず、同じ時間を共有することが安心・安らぎにつながっているようです。



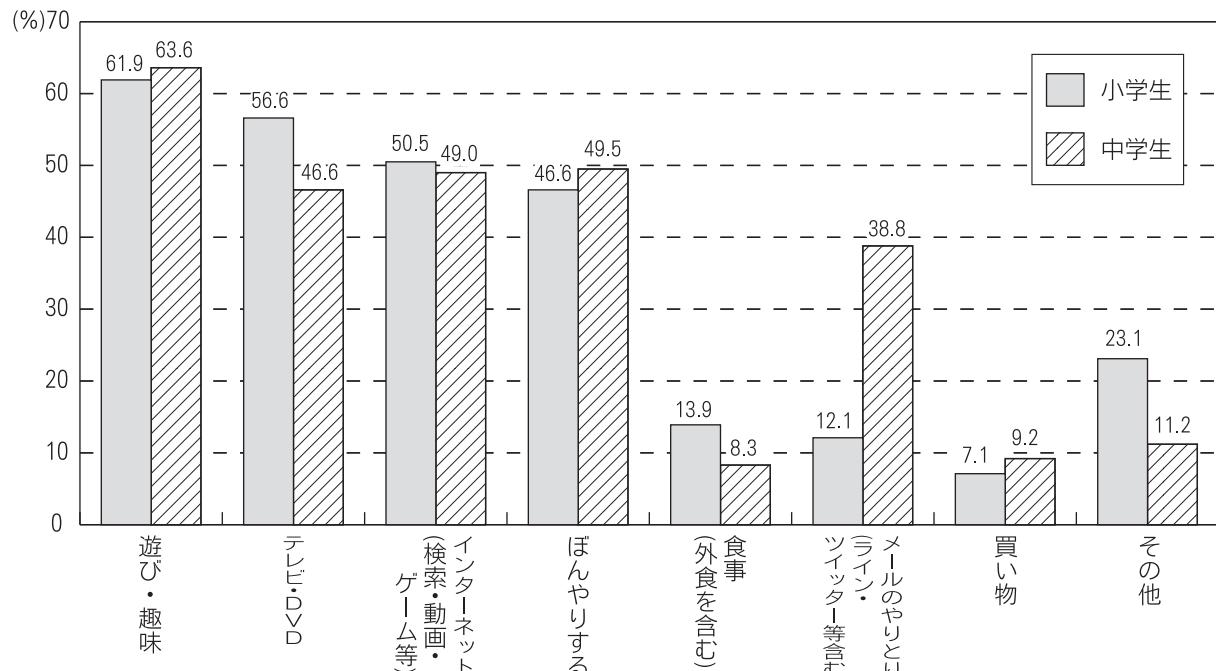
◆ 家族と一緒に過ごすとき、安心・安らぎを感じるのは誰といるときですか。(小・中)



小学生・中学生共に「家族全員」や「親」と過ごすときに、「安心・安らぎ」を感じる子が多くいます。しかし、その一方で「一人」を選んでいる子もあり、小学生では約16パーセントに対し、中学生では約28パーセントと増えています。



◆ 一人でいるときに、どんな場面で安心・安らぎを感じますか。(小・中 複数回答)

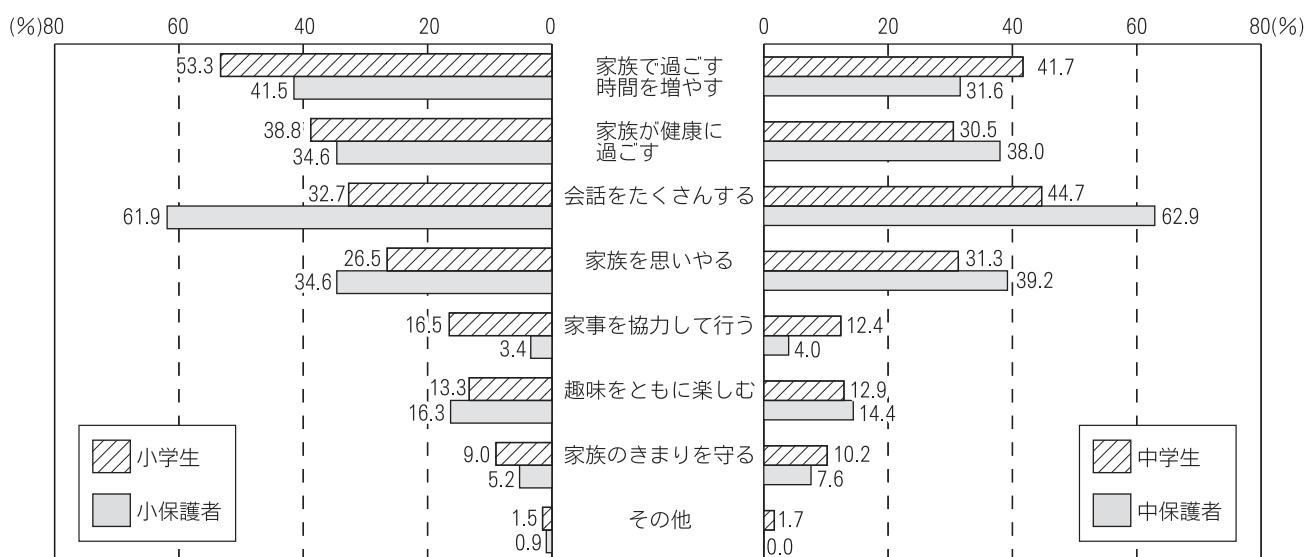


小学生・中学生共に「遊び・趣味」や「テレビ・DVD」など、一人で集中できる項目の割合が高くなっています。中学生になると「メールのやりとり」の割合が高くなっています。



◆ 家族みんなが笑顔で過ごすために、どんなことが大切だと思いますか。

(小・中・保護者 複数回答)

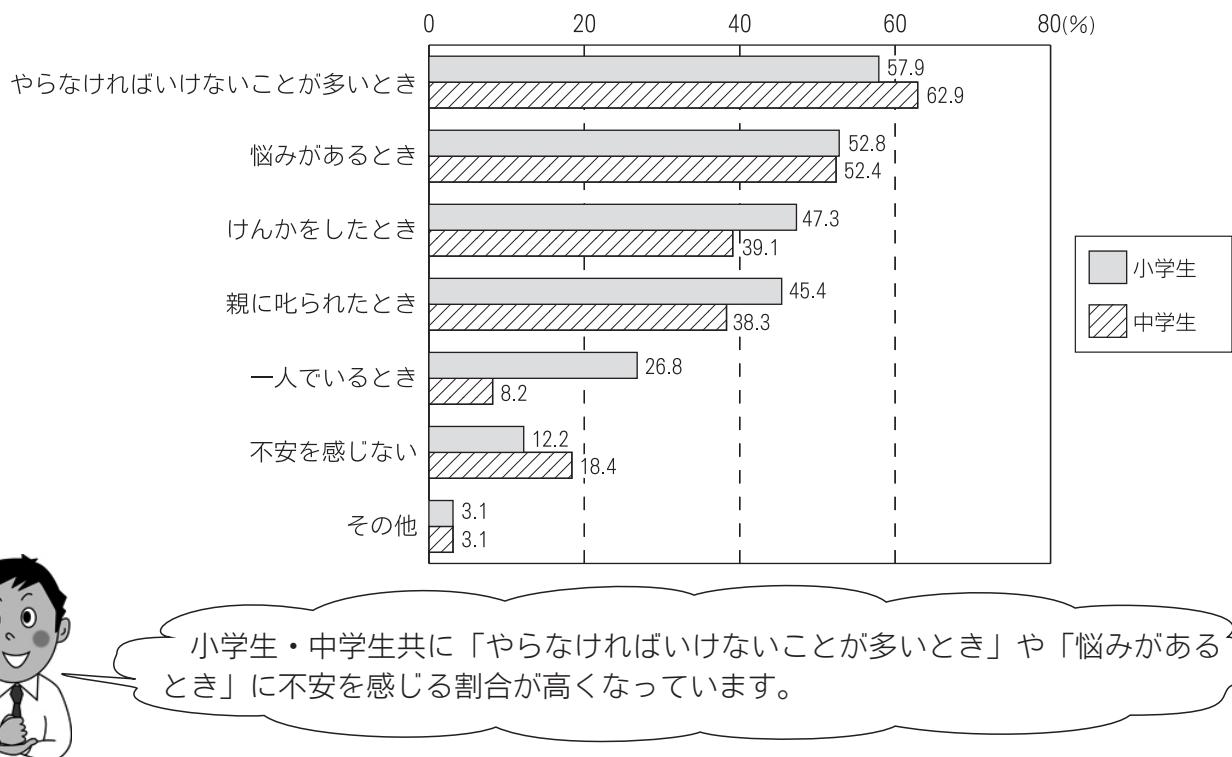


小学生は、「家族で過ごす時間を増やす」の割合が高く、時間を共有することを大切にしていることがわかります。一方、中学生や保護者は、「会話をたくさんする」の割合が高くなっています。ただ「一緒に過ごすだけではなく、会話により意思疎通を図ることが、安心・安らぎにつながると考えているようです。家族とのふれあいは、安心・安らぎにはかかせません。

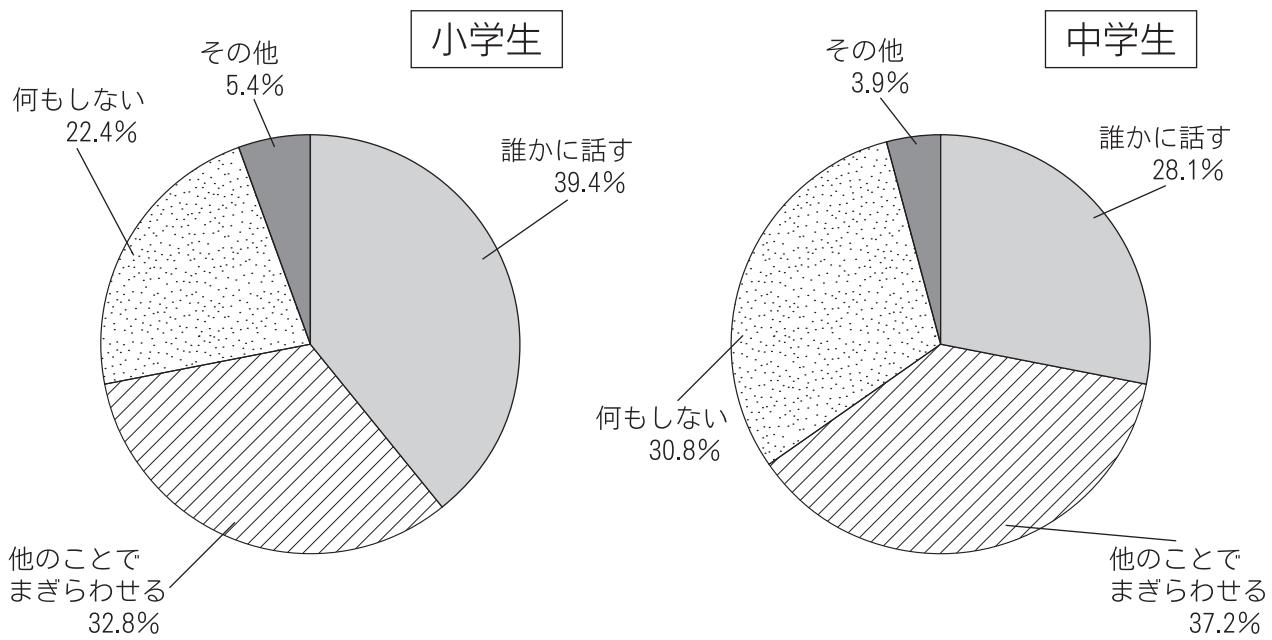


② 家庭生活での不安

◆ 家庭で過ごすとき、不安に感じるのはどんなときですか。（小・中 複数回答）



◆ 不安に感じたとき、どのような行動をとりますか。（小・中）



小学生が「誰かに話す」割合が高くなっているのに対し、中学生は「何もしない」割合が高くなっています。このことから、中学生になると誰かに話して解決するよりも、自分の中で問題を処理しようという意識が大きくなるようです。中学生のそうした心情を親や教師が理解し、一人で問題を抱え込むことがないように、悩んでいるときに声をかけたり、話しやすい雰囲気をつくったりすることが大切です。

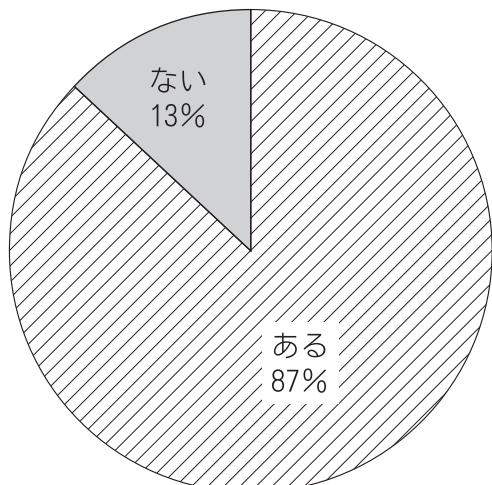


III 輝く明日に向かって

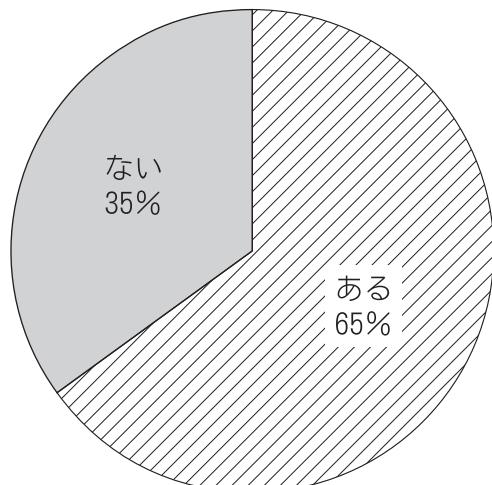
① 将来の夢について

◆ あなたには、将来の夢がありますか。（小・中）

小学生



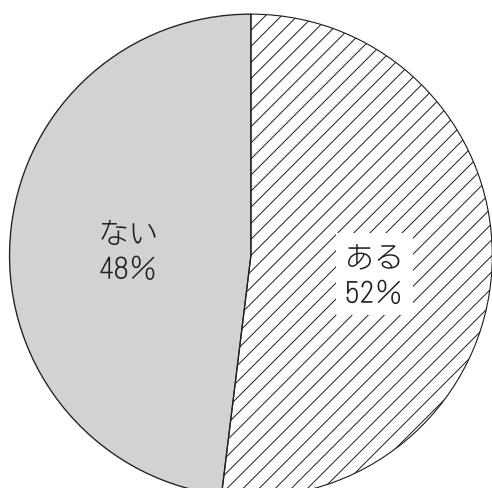
中学生



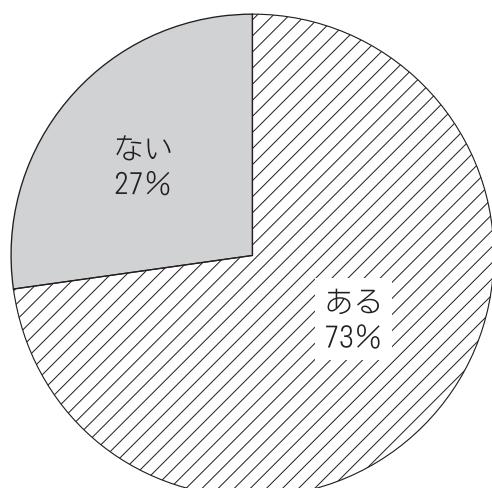
② 将来への不安

◆ あなたは、将来に不安を感じることがありますか。（小・中）

小学生



中学生

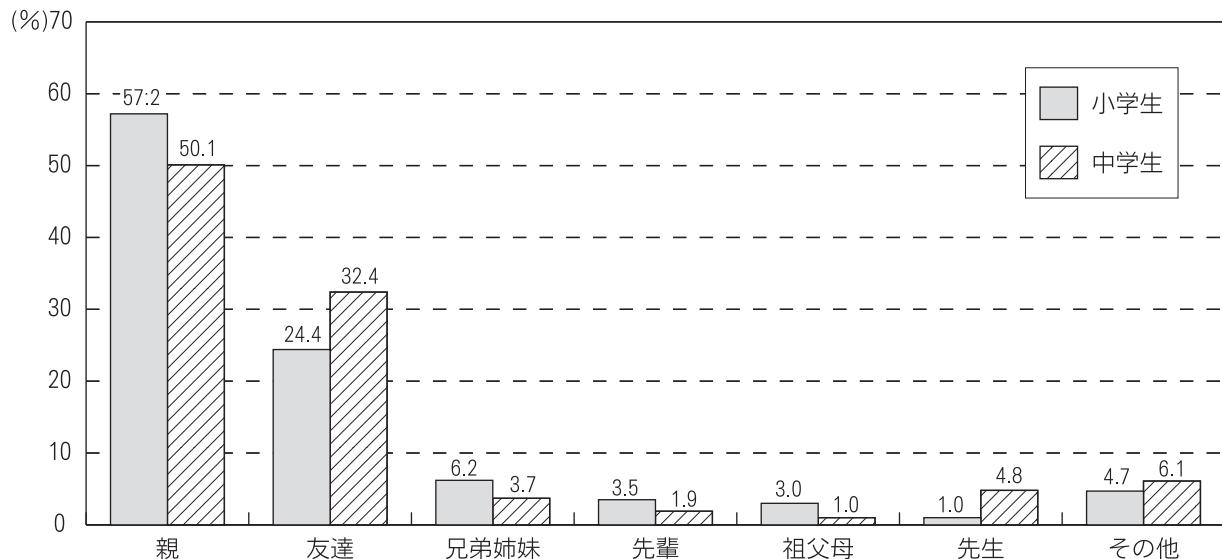


小学生は90%近くが「将来の夢がある」と答えています。しかし、中学生は、「ある」という答えの割合が大幅に減っています。また、約半数の児童が将来への不安をかかえており、中学生に上がるほど将来への不安が高まっています。物事を現実的に受け止めているからだと思います。

現代は子どもたちにとって、先の見えにくい社会になっているようです。将来に夢や希望をもつ一方で、不安を感じている子も多いと考えられます。



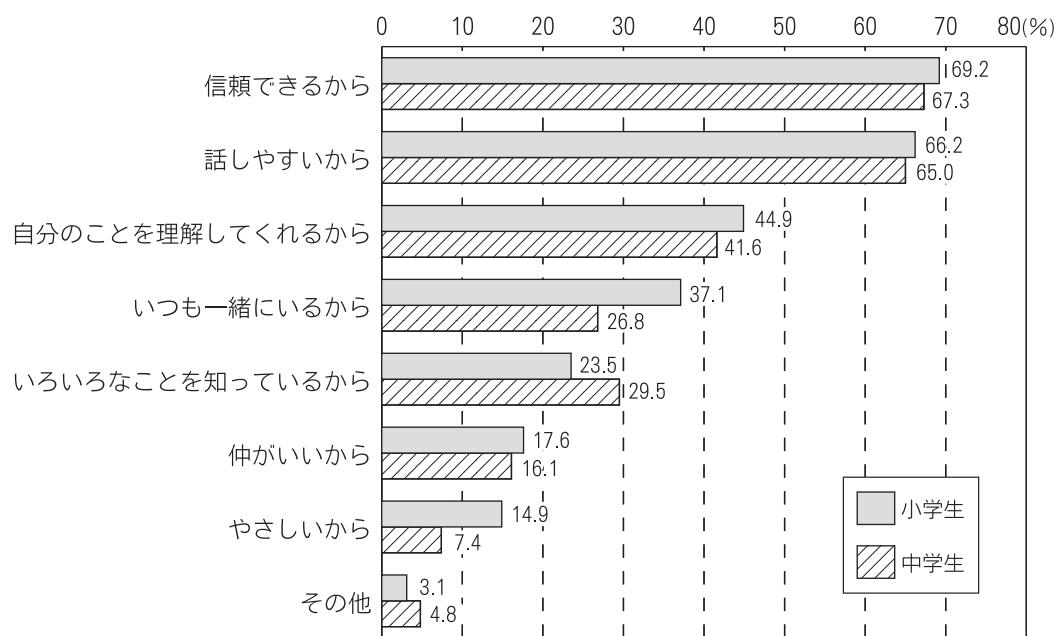
◆ 将来に不安を感じたとき、だれに相談したいですか。(小・中)



小学生、中学生ともに、将来の相談を親にする子どもが多いです。
中学生になると、友達に相談する子どもが増えています。



◆ なぜ、その人に相談したいですか。(小・中 複数回答)

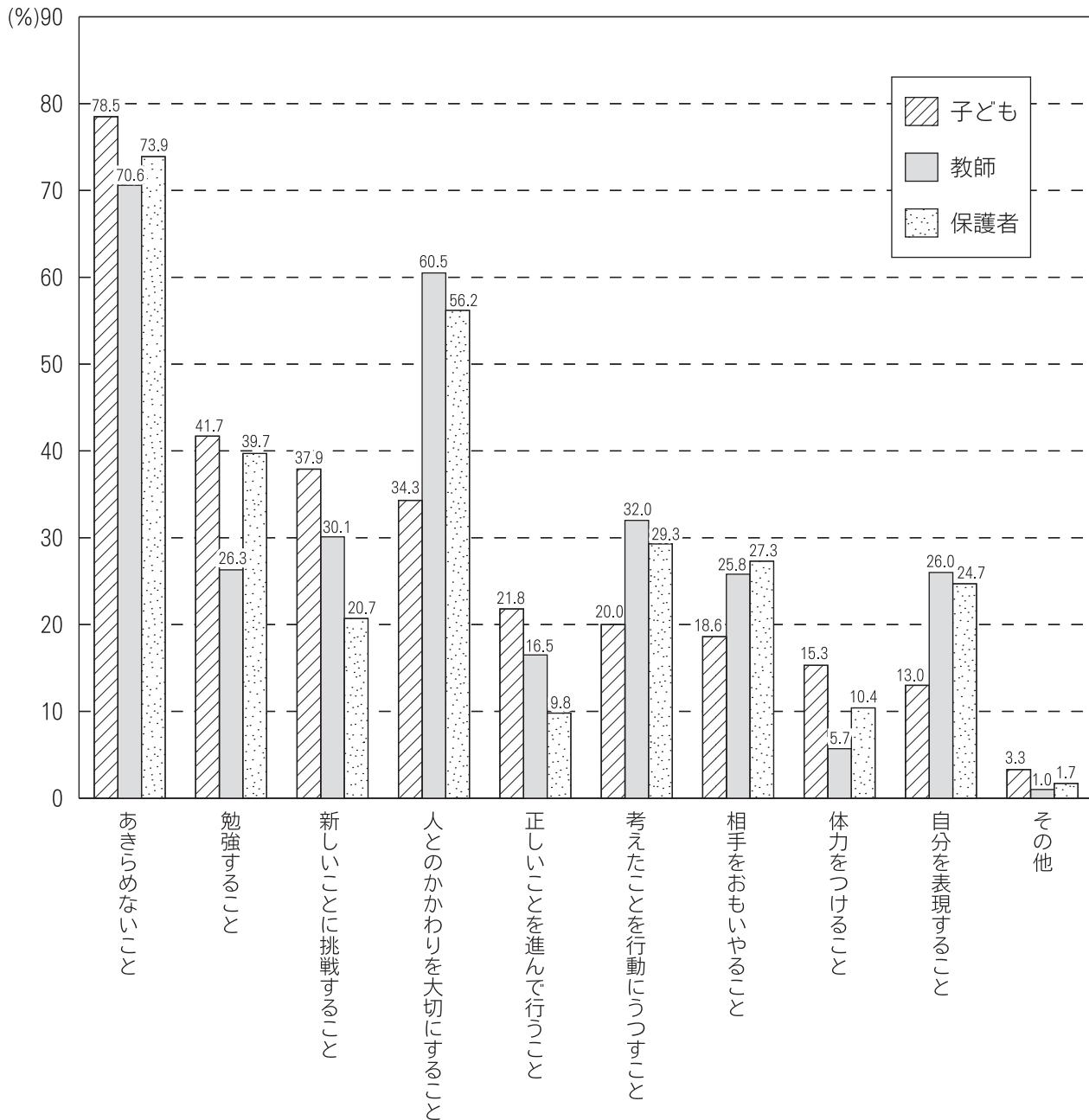


小学生も中学生も「信頼できる」人を相談相手に選んでいます。また、「話しやすい」「自分のことを理解してくれる」という理由も多いことから、自分のことを受け入れてくれる、身近な人を選ぶ傾向があるようです。一緒に過ごす時間を増やし、子どもの話に耳を傾ける機会を増やすことが大切です。



③ 将来に向かって

- ◆ 将來の夢をかなえるために必要なことは何だと思いますか。(小・中 複数回答)
- ◆ 児童・生徒が、将來の夢をかなえるために必要なことは何だと思いますか。(小・中教師 複数回答)
- ◆ 子どもが、将來の夢をかなえるために必要なことは何だと思いますか。(小・中保護者 複数回答)



夢をかなえるために一番必要なこととして、子ども・教師・保護者の三者が「あきらめないこと」をあげています。どんな困難にぶつかっても、継続する意欲を持つことが、夢をかなえる近道と考えているようです。

また、教師・保護者は、「人とのかかわりを大切にすること」の割合が高く、子どもは、「勉強すること」や「新しいことに挑戦すること」の割合が高くなっています。子どもは、自分の力量の向上が夢につながると考えているようですが、大人たちは、コミュニケーション能力を高めることや協力することを学んでほしいと願っているようです。



あとがき

一宮の教育白書「明日を生きる子どもたちのために」は、学校や家庭生活における子どもたちの意識や実態、保護者、教師の意識をあきらかにすることを目的として編集されてきました。

近年、災害や子どもが巻き込まれる事件・事故等が発生しており、子どもの心身に大きな影響を与えています。また、子どもたちを取り巻く社会環境や生活環境の急激な変化により、日常の生活においても生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、児童虐待などの問題が顕在化しており、子どもたちは、どんなときに安心・安らぎを感じているのか心配になります。

そこで、今回はテーマを「安心～心の安らぎを求めて～」とし、“子どもたちが「安心」して通える学校とは”と“子どもたちが「安心」して暮らせる家庭とは”に焦点を当て、アンケート調査を行い、分析した結果をまとめました。

今後もわたくしたち教師は、保護者とより一層の共通理解を図りながら、教育活動をすすめていく必要があります。子どもたちの心の内面を知り、問題解決に向けた取り組みの糸口として、少しでも役立つことを願っています。

なお、この冊子を作成するにあたって、保護者ならびに児童・生徒の皆様、先生方にはアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。編集委員一同、心よりお礼申し上げます。

2014年11月

一宮市教職員組合 教財部長
鎌田 悅典

「明日を生きる子どもたちのために」編集委員

| | |
|--------------|-------------|
| 大滝 翔太（浅井中） | 山崎 隆之（西成小） |
| 儀間 恒平（木曽川東小） | 藤原 孝行（中部中） |
| 伊藤 紘規（今伊勢小） | 稻木 華代（葉栗北小） |
| 松本 千晶（木曽川中） | 加藤 春雄（丹陽中） |
| 橋本 勝裕（開明小） | 岸田 浩代（葉栗中） |
| 鎌田 悅典（北方中） | |

アンケート有効回答者

| | | | | |
|-------|--------|-------|--------|-------|
| 小学5年生 | 1,372名 | 小学保護者 | 1,334名 | (42校) |
| 中学2年生 | 645名 | 中学保護者 | 618名 | (19校) |
| 小学校教師 | 775名 | 中学校教師 | 483名 | |

<表紙のことば>

人とつながり、心が安らぐ。
ひかり輝く子どもたちが
安心して過ごせる未来を願って…

表紙デザイン 川島 賢士

2014 明日を生きる子どもたちのために
編集発行 一宮市小中学校PTA連絡協議会
一 宮 市 教 職 員 組 合
印 刷 所 (有)メディアポート
2014年11月印刷
2014年11月発行